



我等のえいち磨かなん

令和5年6月21日
尾道市立高西中学校
研究推進部

先日（5月24日）の教育研究会，本当にお疲れさまでした。授業をしてくださった中畑先生，矢野先生，若宮先生が今年の研究主題に迫る提案性の高い授業づくりを行ってくださったおかげで，有意義な協議ができ，今年度の研究のよいスタートをきることができました。

【山口指導主事からの指導助言より】

個別最適な学びのキーワード

『選択肢』と『自己決定』



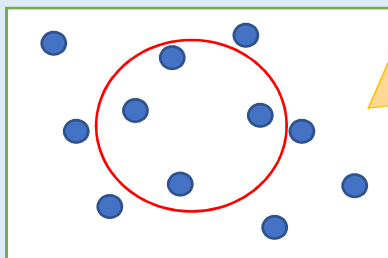
個別最適な学びの一つの形として

「**単元内自由進度学習**」

がある。

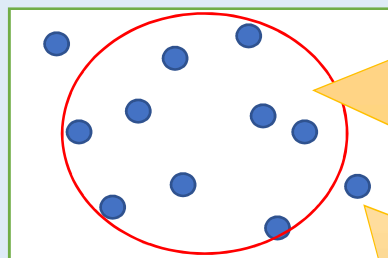
【単元内自由進度学習のねらいについて】

一斉授業の場合



学びに対して主体的になれず，学習内容が理解できない生徒がいることも多い。

自由進度学習の場合



より多くの生徒が主体的に学習に参加し，内容が理解できるようになる。

学習に追いつけない生徒の数が減るので，個別の手立てを十分に行うことが可能になる。

様々な形 ～『選択肢』と『自己決定』を取り入れた授業づくり～

【国語（吉田先生）の実践例】

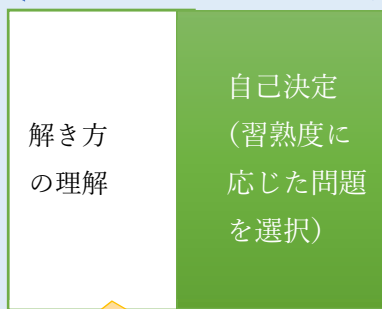
1時間の使い方



課題設定とまとめを丁寧に行い，途中の学びの道筋を生徒にゆだねる。

【数学（藤井先生）の実践例】

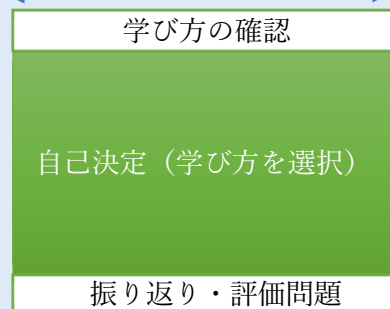
1時間の使い方



1時間の中で，しっかり教え込む部分と生徒にゆだねる部分をはっきり分ける。

【理科（小坂先生）の実践例】

1時間の使い方



単元のほとんどを生徒にゆだねて進めていく

1年 体育 題材名「ダンス・現代的なリズムのダンス」 中畑 聡一朗 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す 単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の課題に合わせて、ブースを選択して練習する仕組みのおかげで、主体的にいきいきと取り組んでいた。 振り返りシートが学習の方法を自己調整できる内容になっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ブースを選択する際に、課題とは関係なく人間関係で選んでいる生徒もいた。 ⇒自立した学習ができる集団作りを目指す。 ⇒個々で練習ができる環境をつくる。 見方・考え方を意識させる振り返りをする。
生徒の実態分析にもとづく、 個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> クロムブックのカメラ機能を活用して、自らの動きを可視化することができていた。 意思表示やコミュニケーションが難しい生徒に対して教員が個別に手立てを行うことができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を見てダンスを見直す際に、視点があると学びが深まった。 生徒同士の効果的な教え合いの場があればよかった。

2年 音楽 題材名「フーガト短調」(J.S.バッハ 作曲) 矢野 英恵 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す 単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> 自分のレベルに合わせて個別に動画を鑑賞することができるようになっていた。 鑑賞の視点が板書やワークシートに明確に示されるなど、焦点化されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身の学びの自己調整を、教師がサポートできるように、教師自身のマインドセットが必要。(教え込むのではなく、学びを委ねる。生徒が学びに向かう過程を信じて待つ。)
生徒の実態分析にもとづく、 個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の良さについて、自分の言葉で表現することが難しい生徒に対して、表現手段(言葉リストや書き方モデルをICTで提示)を複数用意し、生徒が目的に合わせて活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別で鑑賞していくスタイルのため、学習課題に行き詰まった生徒への支援が必要であった。授業の最後に、グループでどのような発見をしたか交流する時間が短時間だったので、生徒同士の教え合いが自由にできる学習環境も必要である。

3年 技術 題材名「計測・制御のプログラムによる問題解決」 若宮 潔 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す 単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> 背中をなぞることで、迷路の進行方向を指示する体験的な学習があったことで、生徒が意欲的に伝達の難しさについて考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてと学習内容の整合性を生徒に実感させやすいようにする。
生徒の実態分析にもとづく、 個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担を選択できたため、各々が自分に合った役割を果たし、班活動に貢献することができた。 ICTの活用(ジャムボード)により、他者の意見が視覚化され、意見の共有をすることが容易になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ジャムボードに打ち込む時間と、意見を交流する時間にメリハリがあると良かった。

1年 体育



2年 音楽



3年 技術





我等のえいち磨かなん

令和5年8月25日
尾道市立高西中学校
研究推進部

1学期の間、先生方におかれましては、校内研究の推進に多大なる貢献をいただき、誠に感謝申し上げます。6・7月に授業をしてくださった藤井先生、佐藤先生、佐々木先生、山野先生、田村先生、内廣先生、お忙しい中、貴重な授業提案をしていただき、ありがとうございました。

1学期の成果や課題を踏まえて、2学期もより良い授業づくりを目指してがんばっていきましょう。

【山口指導主事からの指導助言より】

- ・見通しをもって活動できるよう、授業の大きな流れは習慣化する。
- ・口頭で伝えていることを生徒シラバス（計画表）に落とし込む。

- ・「自分にできるかも」と思えることが大切
- ・一人が動いたらみんな動く「集団心理」を生かす。

授業づくりのポイント

- ①教材研究
- ②何をすればよいかわかる
- ③関係性
- ④有能性
- ⑤自律性（選択）

・日頃から近くの先生と明日の授業の話ができる環境づくりも大切！

・教員も『人的環境』
「この先生となら頑張りたい」と思えるか。

『選択肢』と『自己決定』

- ・読み取る資料の選択
- ・学ぶ人数の選択
- ・調べ方・まとめ方の選択（紙/ICT）

授業中には… 生徒の様子をよく見る。授業の課題が見えてくる。

職員室では… いろんな人の視点から生徒を見る。一人で抱え込まない。

研究授業の記録

1年 数学 題材名「文字と式」 藤井 秀行 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・的あての確率という、日常に関連した必然性のある課題だった。 ・仮説&検証で、知識の習得に納得と喜びがあった。 ・主体的に教え合う雰囲気があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由学習で、暇をしている生徒や教えてもらうのを待ち、自分で解こうとしない生徒がいた。 ⇒やることのルールや、目標とする姿を明確にする。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の見通しが視覚化されていた。 ・導入で解き方の確認を行い、学習の準備が出てきていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算など、自ら解決できない生徒がいた。 ⇒丁寧な例示をしたり、ヒントを視覚化したりする。

1年数学



3年理科



3年 理科 題材名「化学変化とイオン」 佐藤 雄哉 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に話し合うことのできる時間が設定されていた。 ・人的環境として、生徒との良好な関係性から、学ぶ意欲を引き出していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入をコンパクトにする。 ・仮説をたて、授業後に比較できるようにする。 ・生徒から新たに出た問いを追求できるとよい。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・目に見えない原子を、生徒自身がモデル図を使って視覚化できるようになっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の注意点や、思考に必要な情報など、いつでも見返せるような手立てがあるとよい。

3年 佐々木 題材名「Unit3 Animals on the Red List」 佐々木 資子 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・担任の先生に向けて説明するという場面設定で、学ぶ必然性が高められていた。	
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・帯学習で、本時に必要なキーセンテンスを確認してから学習を進めていた。	・交流の方法（ルール）に混乱している生徒がいた。 ⇒交流の内容を焦点化する。 ⇒例示をていねいに行い、模範の姿をつかませる。 ・会話文を作る手立てとして、例文や、キーワードがあると良い。

1年 理科 題材名「身の回りの物質」 山野 良介 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・実験を通して物質を特定するという、生徒の意欲を引き出す課題設定ができていた。	・本時では何が一番の目的なのか、授業のねらいを明確にして、単元構想を行う。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・生徒の発言に対して、肯定的な評価を行うことができていた。 ・一番伝えたい内容(実験の際の危険な行動)について、貼り出して視覚化していた。	・模範実験が見えにくかった。⇒ICTの活用で視覚化。 ・生徒の実験に危険な場面があった。 ⇒机の整理など、場の構造化を行う。 ・追加指示に戸惑いがあった。 ⇒指示を単純化できるように整理しておく。

2年 国語 題材名「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 田村 奨 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・生徒達がグループの中で話し合いながら学びを進められていた。	・授業の流れが分かっていない生徒がいた。 ⇒つけたい力（ゴールイメージ）を明確に示す。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・つまづいている生徒に対して、教員が声をかけ、支援することができていた。	・ワークシートに、何を書いて良いか悩む生徒がいた。 ⇒言葉を精選したり、プリントを構造化したりして、情報を単純化する。 ・振り返りを共有し、次回の見通しを持たせることが必要である。

3年 社会 題材名「現代社会の特色と私たち～グローバル化の光と影～」 内廣 達也 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・葛藤の生まれる問いにより、議論が深まっていた。 ・ICTか、プリントか、書くための支援を選択できるようになっていた。 ・資料を選択して、考えられるようになっていた。	・授業の最初と最後の考えを、ICT活用で視覚化し、比較できるようにするとよい。 ・全体交流が、教師主導になっていた。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・クロムブックに資料が提示され、見やすかった。	・資料の読み取りが難しい生徒がいる。 ⇒スモールステップ化や焦点化の工夫 ・資料から読み取った情報をもとに考えを説明できるように発表の形式を教えることも効果がある。 ・多様な意見を、マトリックスなどに整理できるとよい。





我等のえいち磨かなん

令和5年10月20日
尾道市立高西中学校
研究推進部

日頃より、校内研究の推進に熱意をもって取り組んでいただき、大変にありがとうございます。9月8日の授業公開で授業をしてくださった清川先生、真加部先生、小坂先生、橘高先生をはじめ、チームで教材研究を行ってくださった皆様のおかげで、授業改善に向けて、多くの成果や新たな気づきがありました。授業公開での学びをもとに、これからも日常の授業において、生徒の主体性をより引き出ししていけるようがんばっていきましょう。

【山口指導主事の指導助言より】

多様な学び方の選択肢がある授業は・・・ **生徒の「特性」に応じた学びができる！**



国語中心人物の心情
を読み取ろう！

“**継次**”処理 が得意な生徒

部分 → 全体

「**順序**」を意識した学習が○

私は、「おばさん」の心情から読み取ります。

“**同時**”処理 が得意な生徒

全体 → 部分

「**関連**」を意識した学習が○

私は、「全ての人物」の心情を場面ごとに、読み取ります。

選択肢を与えることで、生徒が自分の得意・不得意（自分に合った学び方）を認知することにつながる

【これからの高西中学校の教育研究に求めること】

子ども達の学ぶ力を信じ、学びをゆだねること

生徒が本当に理解できているか不安・・・

生徒が学びに向かってくれない・・・

「教材研究」が解決

“教える”
授業

“気づかせる”
授業

↑ 10.4(火)学びの変革 研修
山藤指導主事のあいさつより

1年 国語 題材名「星の花が降るころに」 清川 新菜 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・コースを自己決定し、仲間と協議しながら考えを深めることができていた。	
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・単元内自由進度学習で授業を進めることで、教員が机間巡視に徹することができ、支援を要する生徒に関わる時間が多くあった。	・仲間の考えを写すだけの生徒や、つまづいている生徒への意図的な支援が必要。 ⇒他の生徒の考えを共有する意図的な手立てを設定する。

1年 社会 題材名「世界の諸地域～アフリカ州～」 真加部 滉大 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・スライド・動画などICTを活用しながら、豊富な選択肢の中から資料の読み取りができた。	・集まっても学習が深まっていないグループがあった。 ⇒誰とでも協働して学びに向かうことができる集団づくりが必要である。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・活動の見通しや、評価規準が明確に示されていた。 ・他者の考えや、教員からのヒントを参考にしながら学習できるように準備されていた。	・情報量が多く、目指したいゴールに到達するのが難しかった。 ⇒資料を精選し、考える視点を焦点化してゴールを目指す。 ・資料の読み取りに戸惑い固まっている子も一部いた。 ⇒日頃から全体で読み取りの基本を確認したり、生徒自身が助けを求められるように育てたりすることが必要である。

2年 理科 題材名「電流とその利用」 小坂 亮太 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・「何を」「何のために」学ぶのが明確になっており、生徒が課題意識をもって取り組んでいた。 ・多様な選択肢があり、生徒が夢中になって取り組んでいた。	・自己決定が友達に流されている生徒がいる可能性がある。 ⇒自己決定をする際に動機を明確にさせる。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・活動をビンゴカードのようにするなど、見通しをもって活動に取り組むことができるようになっていた。	・生徒の疑問に対して、教員のサポートが行き届いていない可能性がある。 ⇒振り返りから生徒の疑問を把握し対応できるようにする。 ・学力が定着しているか確かめる必要がある。 ⇒自己評価だけでなく他者評価の機会も設定する。

2年 数学 題材名「一次関数」 橘高 輝 教諭

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	・生徒が時間いっぱい集中して取り組み、実生活に応じた課題設定になっていた。	・生徒が自分に合った課題を選ぶ力をつける必要がある。 ⇒生徒に示す難易度が分かる指示の出し方をする。 ⇒解き終わった生徒に机間指導をさせる。 ・教え合いをせず学びが深まっていないグループがあった。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	・一人一人が問題に取り組もうとする集団になっていた。 ・さまざまな方法で問題を解く手段を選択できるようになっていた。	・まとめや解説の時間を取ることができなかった。 ⇒全体共有の時間を確保し、不安なまま授業を終わらせないようにする。

1年 国語



1年 社会



2年 理科



2年 数学





我等のえいち磨かなん

令和5年11月22日
尾道市立高西中学校
研究推進部

日頃より、校内研究の推進にご尽力いただき、大変にありがとうございます。前回の校内研修（10月20日）は、研究授業を行ってくださった栩平先生、亀尾先生、池田未来先生をはじめ、事前協議や事後協議に真剣に取り組んでくださった皆様のおかげで、学びや気づきの多い、充実した時間となりました。

【研究協議～自己決定・自己調整の授業づくりの課題と改善策～】

1 学年

- ・学習に対して粘り強さが不足している。
⇒授業前に前時を振り返り、授業に臨む姿勢の目標をもたせる。できたことに対して肯定的な評価をすかさず与える。
- ・協働する集団になりきれていない。
⇒分からないことを認め合い、安心して議論できる集団にする必要がある。

そのために…

- ☆班活動の手順を示し、定着するまで粘り強く指導する。
- ☆お互いを認め合う活動を行う。

2 学年

- ・教科によって生徒の見せる姿は違う部分がある。
⇒いろんな教科の授業づくりの視点を共有する。
- ⇒学年間で生徒の様子を共有する。

3 学年

- ・一人で学習している生徒がいる。
⇒本当に一人で学習したいのか、協力したくても集団に入りにくいのか、見極める必要がある。
- ・生徒に委ね切れていない部分がある。
⇒教えこむ場面と、委ねる場面を割り切って行えるように授業を組み立てる。

今回の気づき【学習の動機付けに必要な視点は…】

「一人一人が輝く」
主体的な学び

自己決定
自己調整

学習の動機付け

協働的な学びができる集団作り

生徒の興味・関心を引き出す

生徒の習熟度に合わせる

主体性



学ぶことの価値

粘り強く努力する価値

教員が
価値づけをする
↓
努力を評価する

粘り強さ

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャムボードにある情報を自分で選択し、情報から doesn't を使う動機付けができた。 ・付箋による評価ですぐにフィードバックできていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法の定着ができていない。 ⇒生徒にしっかりと発話や発語をさせる中で定着を図る必要がある。 ・文章構成ができていない。 ⇒繰り返し練習することで形を覚えさせる。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な生徒への声かけやタブレットを使用する際のルール設定ができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示が長い、繰り返している。 ⇒短く、英語で指示をする。 ・翻訳サイトをどこまで使わせるか。 ⇒約束事をつくる（何日まで使用可など）

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で好きな曲をあげ、そのイメージを絵にするという課題で、生徒が進んで学習に取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の製作で終わるのはもったいない。 ⇒個々の製作の工夫などを全体に広げると良い。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所を技法ごとにブース形式にして環境を整えたことで学習に取り組みやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に興味のない生徒にとっては取りかかりにくい。 ⇒楽曲を提示して選択させるなどの個別の手立てが必要である。 ・特別支援学級の生徒がブースに入りにくい。 ⇒ 個別の学習場所を確保する手立てが必要。 ・活動から片付けの切り替えが上手くできていなかった。 ⇒タイマーなどを活用して時間の構造化を図る。

	成果	課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の工夫を行い、生徒が進んで学習を行えた。 ・シンプルな課題を設定し、分かりやすく目的を持って自由進度学習が行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識定着の段階と思考の段階を分け、分かりやすく自由進度学習を進められるようにする。
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りを個別に行うことができ、それぞれのペースで学習が行える。 ・資料が全て終末の課題に直結していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人で学習をしている生徒への声かけが行えていない。 ⇒共に学べる集団づくりを行う。 ・振り返りシートが、1時間につき1つの問いを記入する形式だったので、進度を限定する形になり、生徒が混乱してしまった。 ⇒振り返りシートの形式を吟味する。



1年 英語



1年 美術



2年 社会



我等のえいち磨かなん

令和5年12月22日
尾道市立高西中学校
研究推進部

日頃より、校内研究の推進にご尽力いただき、大変にありがとうございます。前回の校内研修(1月22日)は、研究授業を行ってくださった吉田先生、西井先生、緒方先生をはじめ、事前協議や事後協議に真剣に取り組んでくださった皆様のおかげで、学びや気づきの多い充実した時間となりました。今回の校内研修の学びをまとめます。



【山口指導主事の指導助言】

教えることを

直接 → 間接(気づき)へ



「教材研究」が大切!

- ・評価規準
- ・ヒント資料
- ・視点のチェック項目
- などの設定

1時間のうち、
教師:子ども
の活動の時間の
割合を考えてみ
ましょう。

授業を生徒に委ねると...

生徒の動きがよく見える

気になる生徒の行動



肯定的な 評価 や 支援
につながります。

単元計画を生徒と共有すると...

見通しをもたせることができる

「どんな力をつけたらいいのか」
「何を意識して学べばいいのか」
を、生徒自身が理解して学びを
進めることができます。

この2学期で、当初予定していた一斉の研究授業を無事にやり遂げることができました。皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。3学期も、数名の先生が研究授業に挑戦してくださいます。新たな学びを積み重ねながら、学びを少しずつ日常の授業改善に生かしていけるように力を尽くしていきましょう!



成果		課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的背景もふまえ、生徒が前向きに活動できる場面設定をすることができていた。 ・テーマ別にグループを作っていた。 	<p>・書けない生徒への支援をグループ内でする時間をとることができていなかった。</p> <p>⇒話すとき、書くとき、聞くときの時間を区切り、提示する。 時間の「構造化」</p>
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのメンバーを変えて発表することにより、自分の意見をより多くの生徒に伝えたり、いろいろな意見を聞いて、新しい知識を得ることができたりした。 	

成果		課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題に対する練習が選択できたので、止まる生徒がおらず、主体的に動いていた。 ・生徒の模範映像があり、模範を示す生徒も見る生徒も、意欲が向上することにつながった。 	<p>・技術の向上のために、練習を振り返る手段が少なかった。</p> <p>⇒「見る」「支える」の視点で、他者評価を生かして改善する。</p> <p>・この時間・単元で何ができるようになればいいのか、何を意識したらいいのかが、はっきりしていない生徒もいた。</p> <p>⇒ つけたい力や意識させたいことを焦点化する。</p>
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の課題ごとに練習するブースが分けられ、場の構造化が図られていた。 	

成果		課題と改善策
生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの羅針盤によって、多くの生徒が見通しをもって学習に臨む生徒が多く、教員の手を借りず自ら進める姿が見られた。 ・個別最適な学びの中に協働学習も位置づけられていた。 ・学習コーナーなど生徒が学習に向かう手立てが充実しており、自由な学びが保障されていた。 	<p>・個々の生徒の進み具合を把握する方法が難しい。</p> <p>⇒自由進度学習を進めることにより、生徒が教員の手を離れるため、個々へアプローチする時間が増え、進度の確認や実態の把握に繋がる。</p>
生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・教室と廊下で個人と交流に分ける学習環境づくりをしたことで、それぞれの活動を集中して、効果的に行うことができた。 <p style="text-align: center;">場の「構造化」</p>	

2年 英語



2年 体育



3年 国語

